



私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同



当日の様子

ウォーカブルなまちづくり

寫田 洋一 | 代表取締役社長

このようなイベントは初めてでした。当社も所属する盛岡駅前商店街が中心になって、ウォーカブルなまちづくりの

去る10月21日、盛岡駅前通を歩行者専用にして飲食・物販ブースやふわふわトランポリン(ベアレンから初めて工場外でお披露目)、ステージではさんざ踊りやダンスチーム、よさこいさんさなどの披露があり、あいにくの雨交じりの天気でしたがおよそ1万1千人の方々にお越しいただき大変盛り上がりしました。



初めての出張、ふわふわトランポリン

勉強会を約1年前より進めてきており、今回、念願のイベントとなりました。関係者の一員として感慨深く、対応させてもらいました。

このイベントは単なる商店街の単発の賑やかではなく、将来的な「ウォーカブルなまちづくり」を踏まえた第一歩として考えており、街路を「人」中心とすることで生まれる効果などを測定するなど、社会実験的な意図も含めて準備してきたものです。私たちが十分の手ごたえをつかめましたので、今後の展開にも期待していただきたいと思います。

オープニングセレモニーで盛岡市長が、盛岡は中心街がいくつかに分散して効率的でない街づくりをしてきた。しかし、それが今になってNY誌にも評価されるなど歩いて回って楽しめる魅力が注目されていると話をしていました。駅前通りがホコテンになることで、ではここから材木町の市まで歩いていこうか、大通りへ行ってみようかという人の流れができたと思いますし、今後の街中活性化に対してもウォーカブルなまちづくりには期待が大きいと感じます。

ベアレンはビール会社として、ウォーカブルなまちづくりとの相性の良い会社ですので、今後ともこの取り組みに力を入れていきたいと思っていますが、車社会との良い共存を図っていければと思います。盛岡駅前の新店「ビアフロントベアレン」も盛岡駅前を地

方都市によくあるチェーン店ばかりの光景にいたくない、そんな思いも持って開店しました。

盛岡らしいまちづくりに、これからも関わっていければと考えています。

リレーエッセイ

石岡 新司 | ビアバーベアレン中ノ橋



またお会いしましたね。聡子さんからバトンをいただきました、中ノ橋店の戦う男シンディです。レストラン便りのシンディが表の顔だとするとこれからお見せするのはシンディの裏の顔となります。嬉し恥ずかし書き綴ってまいります。しかしながら、アウトドアでアクティブなスタッフの多いベアレンの中で、インドアでネガティブな私に公表するほどの趣味があるだろうかと考えあぐねっていたところ、ひとつだけありました。ベアレンにはビール会なるイベントがございましてニモクや菜園、かつては中ノ橋ビール会もありましたが、人知れず行われるビール会があります。その名も「シンジビール会」。そのシンディ

とは世を忍ぶ仮の名前で本名はシンジと申しまして、お店で「シンディ」の名札をつけているとたまに「出身はどちらのお国ですか?」と聞かれることのある濃い顔ですが生粋の盛岡っ子です。そんな我が家限定のシンジビール会ではテーマを考え、なかばこじつけのようなテーマにそったビール、フードを用意します。ベアレンはもちらんのこと市販のビールも用意する事によって他社さんの勉強 市場調査にもなつて一石二鳥、一挙両得、二兎負う乞食はもらいが少ないという具合でございます。妻と二人きりで肅々とやっているビール会ですが毎度趣向を凝らしてテーマだ、ビールだ、料理だと考えているとけっこう楽しいものです。また、夫婦仲向上にも役買ってくれているものと思っていますのでこれからもこの会は続いていくことでしょう。次のバトンは同じ3月30日が誕生日の飛澤さんに繋ぎます。

今月の新製品

都鳥 勇介 | 総務部

11月1日より、岩手日報社さまが展開する育てよう災害救助犬プロジェクト「いわてワンプロ」とコラボしたベアレンクラシックを1万本の数量限定で販売しています。「いわてワンプロ」とは、災害救助犬の育成や普及活動を支援するプロジェクトで、ベアレンはプラチナパートナーとしてこの活動に参加しています。

今回のコラボでは、「いわてワンプロコラボ」シールが貼られたベアレンクラシックをご購入いただけますと、売上1本につき10円が支援金として災害救助犬団体に寄付されます。クラシックを味わっていたらきつつ、ぜひ災害救助犬活動へのご支援、よろしく願います。



通常のベールの横に「こちらシールの横に貼られています」



各アカウント一覧はこちら↓

編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

「わたしとベアレン」の記事を募集しています。皆さんが思うベアレンの魅力やベアレンとの思い出などを300文字程度で投稿いただき、ベアレンニュースに掲載します。採用された方には、「ベアレンビール3本セット」をプレゼント!ご応募、お待ちしております!

今月の一枚

北山工場の工場見学を平日限定で再開しました! 普段は入ることのできない工場内をスタッフの説明つきでご案内、100年以上前の醸造設備を間近で見ることができますよ~♪ 詳しい内容やご予約はこちらから→

ベアレンとカケルプロジェクト — これまでの活動報告2 —

澤田 岬希 | 営業部直販課

こんにちは！20周年「ベアレンとカケルプロジェクト」のミサキです。ベアレンビールの記念日、4月26日からスタート本プロジェクトは、先月10月2日に募集を締め切りとさせて頂いていただきました。開始当初は1件も応募が来なかったらどうしよう…とドキドキしていましたが、おかげさまで頂いたアイデアの数は約100件と当初の想像を超えるたくさんの方からご応募いただくことが出来ました。もう皆さまご存知かと思いますが、本プロジェクトはこの20周年という節目に「もっともっと右手の誇れるビールになりたい」「右手を元気にしたい」という思いからベアレンと『何か』をカケ合わせて一緒に右手を盛り上げようという企画です。期間中、私たちがでは思いがなかった素敵なアイデアをご応募いただいた皆さま、周知してくださったたくさんの方々に、本当にありがとうございます。このプロジェクトを通して、共に右手を元気にしたいと考える仲間がこんなにいたことにプロジェクトメンバー一同、胸を熱くしております。さて、現在の取り組み

みについてお知らせでございます。実現した「カケル」は随時SNSや特設ページでご紹介しておりますがここでも一部ご紹介したいと思います。辛呼来「Japacさま」「カケルさんさ裂き織り」、ひだまり農園さま「カケル馬車」、メンマ大門さま「カケルおつまみメンマ」など、改めて右手の魅力を再認識できるコラボが実現しております。



ホップを飾った馬車で♪

現在進行中のコラボも一部ですがご紹介したいと思います。「カケルもりけん」1月にはあなたの「盛岡通」度を認定する「盛岡もの識り検定」とのコラボ。スペシャル企画として、追加問題「ベアレン検定」を実施します。追加問題にクリアすると

ベアレンビールをプレゼント。受付は11月20日からとなっておりますので気になる方はぜひブログをチェックしてみてください。他にも「カケル料理教室」「カケル陶芸教室」や市内専門学校とのコラボ企画など続々と実施予定です。最後まで注目してご覧くださいませ！



GPSラン風景

わたしとベアレン

投稿者 | 奈須田 潤 さま

私とベアレンとの出会いは2017年の夏。初めての盛岡で、駅に着くなり見つけた地下1階のお店に飛び込みました。当時は仕事が辛くて辛くて現実逃避の旅だったためか、地ビールがいーくらしいの感懐しか持てませんでした。が、不思議と心に残り続けました。

この夏、久しぶりに盛岡を訪れて中ノ橋のお店でベアレンビールとの再会。美味しい食事と共にゆっくりに楽しむことができました。この6年間で仕事でもプライベートでも大きな変化がありました。今この瞬間を存分に楽しめていることが何よりも嬉しくて、一人カウンターでニヤけっぱなしでした。また来ます、必ず。コロナ禍を乗り越えて、ベアレンに感謝感激の夏でした。

※引き続き、皆さまの投稿をお待ちしております！

応募QRコード

レストラン便り

石岡 新司 | ビアバーベアレン中ノ橋

どうも皆さまこんにちは。中ノ橋のシンデイです。ビアバーベアレン中ノ橋がバスセンターへ移転して無事に一周年を迎えることが出来ました。移転前からするとなんと十三周年となります。これまで続けられたのもひとえに皆さまのご愛顧のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

10月4日〜14日には、中ノ橋限定ビール「バスセンタードライブアウト」が登場し、まるでバスからほとばしるオイルのように、真つ黒ながら力カオのような風味とすつきりとしたドライな後味が美味で大変ご好評いただきました。



来場者がシールを貼って作成した「一周年記念のバスセンターツリー」

限定フードメニューもあり、「白金豚とリンゴのトマトスパイスー焼き」、フルティーながらガツンとパンチのある味わいに、肌寒くなった今の季節にポカポカと温めてくれる一品でこちらも大人気となりました。また、10月7日〜9日には、バスセンター全体での一周年イベントも開催され、ベアレンビールが当たるスタンプラリーやお得なお買い物券の販売、さらにはバスセンター初の試みでラグビークラブ日本代表戦のパブリックビューイングを開催しました。皆さまベアレンビールを片手に、ボールの行方に一喜一憂し、その声援はきっと選手の方たちにも届いていたことでしょう。近隣では北のクラフトフェアが行われていたおかげもあってか大盛況な3日間でした。これからも皆さまを楽しませるお店にしたいと思っておりますので、ビアバーベアレン中ノ橋、ひいては盛岡バスセンターの応援を何卒よろしく願いたします。

笑熊会活動報告

中山 佐智子 | 製造部 栗石工場

10月はベアレン恒例の家族会でした。はい！今月も私、中山が担当させて頂いたきます。今年の家族会はコロナ明けという事もあり、例年よりも多い人数での家族会となりました。行先は『GETOキャンプフィールド』という場所で行いました。当日の天気に関しては、日頃の行いが悪いのか(笑) 前日の快晴とは打って変わわり、行きのバスに乗っている時から雨がポツポツ、、、。この日のために、外で行うゲームの準備をしてきたのに！バスの中では、スタッフとその家族の自己紹介から始まり、ビールで乾杯をし、途中ミニゲームもやりながら、そうこうしているうちに、夏油に到着！

雨は朝よりも強く降りだし、おまけに寒い！ダウンを着ても火の近くでないと寒かったです。各班に分かれて、BBQの準備をし、ビールをつないで、大人は宴の始まりです。スタッフ家族とは普段会う機会が少ないので、こういった場を通じてたくさん話ができて、

とても楽しい時間となりました。子供たちも外で遊ぶことが出来ないながらも、ゴンドラで頂上に行ってみたり、お菓子を焼いてみたりと、それなりに楽しんでくれたようです！一方、大人の宴は、お酒も入ってか、トクはますます絶好調！帰りのバスでも、寝ることもなく、宴の延長戦となり、そのままバスは無事、北山工場に到着。集合写真をまさかの工場前で撮るというミスさえなければ、悪天候での家族会とはいえず、楽しい一日となりました！けど、来年は絶対晴れてくれえよ(涙)

北山工場前での集合写真

